

<背景・課題意識及び目的>

- ニセコエリアは、**世界的にも知られるパウダースノーを楽しめる高い魅力をもつリゾート地**であり、**自然環境を活かした多彩な観光関連施設**を有するが、繁閑差に起因するサービスクオリティの課題、二次交通の脆弱さなどのため、当エリアに訪れる観光客の満足度は観光資源以外については高いとは言えない。
- そこで本事業では、観光客等の『予約前・出発前』、『滞在中』の各フェーズにおいて、**各フェーズで求められるリアルタイムな地域の稼働情報を観光客に提供**する仕組みを構築し、潜在的観光客の顕在化、当エリアでのかきこい行動への誘導による観光客の満足度向上、地域内消費の拡大を目指す。さらに、**収集した多様な地域データの見える化、そのデータ分析による近未来の需要予測ができるシステム**を開発、需要変動に応じ、行政・DMO・観光関連事業者が連携した戦略的な取組みを立案・実行できるシステム構築・体制づくりを実施する。
- また、本事業後は、より多くのリアルタイムな地域データを収集し、わかりやすく地域の稼働状況を表現するシステムへと拡充し、観光を基軸とした地域の動きの見える化を発展的に推進する。

<本事業の内容>

【事業計画 (スケジュール)】

R4年6～10月:システムの開発

11月:試験運用

R4年12月～R5年2月:実証運用

2月:実証結果の評価

【開発・活用する技術・サービス】

観光客向け ①地域データポータルサイト (ダッシュボード化)

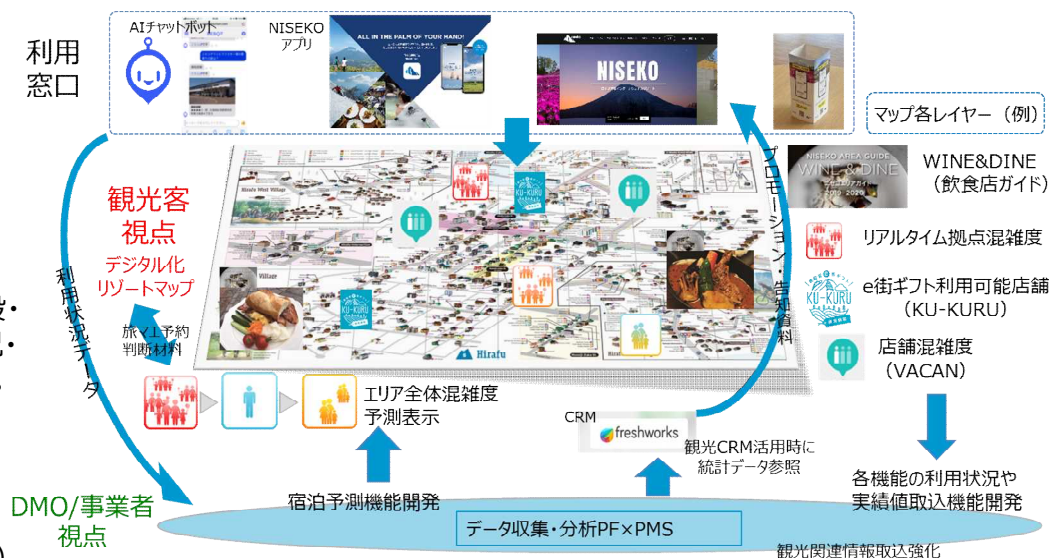
DMO・事業者向け ②データ収集分析プラットフォーム

【実証実験内容】

- ① 宿泊施設の混雑状況、スキー場リフトの稼働状況・リフト混雑状況、観光施設・飲食施設の営業情報・混雑状況、シャトルバスの運行情報など地域の稼働状況・混雑情報に関する様々なデータを集積し、観光客などへ提供する仕組みを構築。
- ② 収集したデータを分析、今後の需要を予測するシステムを構築し、戦略的な取組み立案と実施をモデル的に実施

【KPIと効果検証手法】

- ・繁閑の平準化 (冬季の閑散/繁忙) 48%→55% (宿泊データより算定)
- ・地域データポータルサイトの利用者数 5,000人/月 (サイト利用者数で観測)



<構築する観光地経営のモデル>

【構築する観光地経営のモデル】①の運用を通じ、観光客の行動の選択肢を提供、エリアでのかきこい時間 (満足度の高い時間) の使い方を促し、地域内消費の最大化を図る。→観光施設の効果的な稼働を促し、経営改善を促す。

【他地域等との差別化や競争上の優位性を確保する方法】②のシステム運用により、行政・観光DMO、宿泊事業者・観光関連施設経営者が、データを見る力、分析する力を醸成。システムから提供される近未来の需要予測をもとに、戦略的な取組みを展開、効率的な経営へのシフトを実現

<DXにより実現したい姿とそのためのロードマップ>

当事業年度は、当システムの利用により、観光客の当エリアでの冬期における滞在満足度を向上。翌年度以降は、システムの継続利用・利用拡大を図り、他の期間のニセコエリアの魅力伝えることでリピーターを確保し、年間の集客の平準化を目指す。

3年後には、システムで提供するデータのさらなる拡充、観光コンテンツの情報発信を展開し、繁閑差をさらに縮めることで、地域における繁閑に伴う観光施設・飲食物の休業率を抑制、いつもにぎわい、いつきても楽しめる観光リゾート地へと転換する。